



渋谷タブレットの日 ハイブリット型授業を目指して

校長 手代木 英明

第一回の「渋谷タブレットの日」は、令和元年十一月八日に渋谷区立小・中学校全校が公開授業を行い、上原中学校を会場に研究発表会が行われました。

今年度の「渋谷タブレットの日」は、各学校で開催しています。本校は、二月十三日（金）に、公開授業をする予定でしたが、緊急事態宣言の発令によって、授業参観と発表は中止となりました。公開はありませんが、タブレット活用の研究は続けています。

目指しているのは、「授業のハイブリット化」です。この二十年間のICT教育は、「コンピュータを使えるようになる。」ことが目標でした。パソコン室で一斉にコンピュータを操作し、情報収集をしたり、アプリを使って学んだりしてきました。

それが、2017年9月に渋谷区が「一人一台タブレット」を導入してからは、自分で撮影した画像を友達に見せたり、調べた情報を自分なりにまとめて発表したりすることができるよう

になりました。そして、タブレットで、共同作業ができるようになりました。

コラボノートというアプリを使って、クラス全員が一枚のページにアクセスして、意見を書いた付箋を貼り付けて意見交換をする学びが始まったのです。このアプリが、在宅オンライン学習に役立つことは、ご存じの通りです。

ところが、新システムには、このアプリがありません。代わりに在宅勤務で使われるようなアプリ（Teams や OneNote）と子供向けのムーブノートやオクリンクが入りました。現在は、これらで、配信された教材に自分の意見を書き込んだり、友達作品にコメントを書き込んだりする学習をしています。「渋谷タブレットの日」神宮前小は、これらを使った授業をして、皆さんにホームページで公開する予定です。

このような授業のハイブリット化は、もしも、再び休校措置になった場合に役立つし、将来、子供たちがオンライン社会で生きる力となるはずですが、

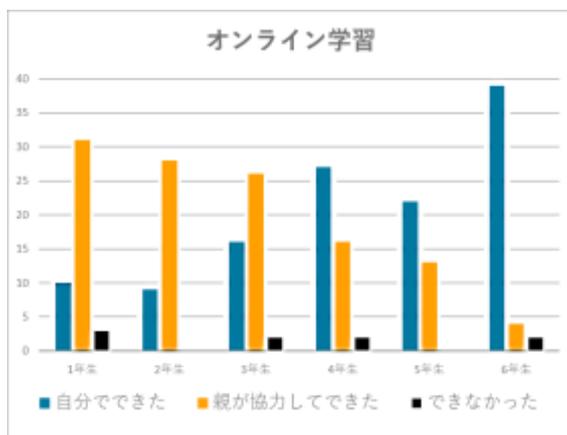
しかし、注意も必要です。みんなが、自由に書き込めるということは、悪口も書けるということです。そのような

ことが起きないように、学校と家庭が協力して見守り、子供たちに情報モラルを身に付けることが大切です。ご協力をお願いいたします。

アンケート調査へのご協力

ありがとうございます。

昨年夏に、「在宅オンライン学習について」、年末に「学校評価」のアンケート調査を致しました。貴重なご意見をたくさんいただき、感謝いたします。今後の学校運営に役立ててまいります。



春の在宅オンライン学習は、ご家庭の協力を得て成立しました。六年生は、自分の力でやったところが凄いです。通信やアプリの状況なども把握できました。学校評価の結果は、別紙でお知らせします。どうぞ、ご覧ください。

二月の生活指導

寒さに負けずに過ごそう

寒い日でも、休み時間になるとたくさんの子供たちが元気に校庭で遊んでいます。特に今年は、感染症予防対策のために分散して校庭や体育館を使っているのも、子供たちはその時間を心待ちにしているようです。

体を動かすことは、心身ともに健康な生活を送るうえでとても大切なことです。外遊びでは体が温まり、着ていた上着を脱いでいる子もいます。寒暖に合わせて衣服の調節をし、屋内でも屋外でも気持ちよく過ごしてほしいと思います。

屋内ではコート・マフラー・ネックウォーマーなどの防寒着を脱ぐこと、標準服の下にフードのついた服を着ないこと、換気している教室では寒くないように防寒用の下着や上着で調節することなど「水車の子 生活の約束」に書かれていることを全学年共通して指導していきます。

混みあう時間は、手洗いの蛇口を閉めずに、手洗いを励行するようにしています。予防に努め、免疫力を高めて、この季節を乗り切りましょう。

(生活指導部)